令和元年度運行分系統別利用実態(公表シート) 様式2

	令和:	元年度運行	分系統別和	引用実態	(公表シー	-ト) 様式 2
系統名		中伊豆線		事業者名	伊	豆箱根バス株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点			
	修善寺駅	地蔵堂・ 貴僧坊	筏場			
系統‡□程(km)		12.7	輸送量(人/日)		28.7	
平均乗車密度(人/便)		2.5	運行回数(回/日)		11.5	
アクセス状況公共・拠点施設	学校	修善寺南小学校、中伊豆小学校、修善寺中学校、中伊豆中学校				
	病院	中伊豆温泉病院、伊豆赤十字病院				
	商業施設	銀行(静岡・スルガ他)、修善寺郵便局、JA伊豆の国農の駅				
	その他	伊豆箱根鉄道修善寺駅、伊豆市役所、伊豆市役所中伊豆支所、中伊豆図書館				
収支率(%) (収益/費用)	42.6		乗車人員(人)		72,631	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停 1	名称	拠点:伊豆箱根鉄道修善寺駅 バス停:八幡			
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利)	元(%)	43.6	/ / / / I			
増収策	SNSを活用して運行状況や、沿線情報等のお知らせを配信し、利用機会の創出を促す。自社の利用感謝イベントや地域のイベント等に参加し、チラシやノベルティを配布して、バス利用の啓発活動を実施する。 年長園児や小学生を対象としたバスの乗り方教室を実施し、バス利用者の増加を図る。現在スマートフォンで購入可能な定期券の導入を進めており、少しずつ対象路線を拡大していく。 車内へインバウンド用の利用案内を掲出し、案内の充実により、わかりにくさの改善を図る。					
費用削減策	ダイヤ改正と合わせて、運転手の仕業本数を見直し、効率的に人件費の削減を図る。 乗務員教育から事故防止意識を醸成し、不用意な事故に起因する車両修繕費や保険料等の 費用の抑制に努める。 営業所の統合により営業所の事務員人件費・管理運営費等の削減と効率化を図る。					
沿線市町の サポート						
利用実態	系統キロ程(km)					

